



屋根も壁もない・・・市内が全部博物館・・・



(愛称は「ちがさき丸ごと博物館」)



冬編

都市資源取材特集号！



新春凧揚げ大会 写真提供：柳島風の会 前田照勝氏

都市資源特集第3弾！

季刊誌第32号から始まった、ちがさき丸ごと博物館・広報部会が市内の都市資源とそれに関わる方々に取材に行く都市資源特集号も3回目。身近にあるのに意外と知らなかった茅ヶ崎の宝ものを訪ねて取材してきました。(2面へ)

2月に企画展「お届けエコミュージアム！松林丸ごとふるさと発見博物館」を開催！

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の企画展は今年で6回目の開催となります。今回は松林公民館とその周辺を舞台に、松林を知り、松林で学び合い、松林を巡る企画をご提案します！(3面へ)

トピックス 北海道北広島市からの視察

平成29年10月31日(火)に、北海道北広島市でエコミュージアム事業を担当されている職員の方が視察にいらっしゃいました。

ちがさき丸ごと博物館講座(基礎編)見学後、市民ボランティアとのまち歩きを体験されました。「行政側だけではなく、市民ボランティアの方と直接お話を伺い、生の声を聞くことができ参考になりました。」とおっしゃっていただきました。お越しいただきありがとうございました！



トピックス アクションプロジェクト・ガイド部会 まち歩き「懐島郷を歩く」開催

平成29年12月13日(水)、ちがさき丸ごと博物館・ガイド部会によるまち歩き「懐島郷を歩く」を開催し、円蔵・西久保地域を巡りました。案内役は、平成29年9月から約3ヶ月にわたるガイド研修を受けてきた6名です。

当日はお天気に恵まれ、これまで学習してきた成果を十分に発揮することができました。アンケートには、「新人ガイドさんの説明に熱がこもっていてとてもすばらしかったです」という感想もいただきました。



募集

MaruhakuTV交流会

～冬の味覚を楽しみながら、湘南・茅ヶ崎の話を聴く～

平成28年9月から始まったちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信サービス「MaruhakuTV」、おたのしみいただけていますでしょうか。その「MaruhakuTV」の受講者対象にランチ交流会を開催します。



MaruhakuTV
サイトへ

- ◇日時 2月10日(土) 10時～14時
- ◇場所 コワーキングスペース チガラボ
(新栄町13-48 ワラシナビル5階)
- ◇定員 30名(申込制(先着))
- ◇参加費 2,000円
- ◇申込 1月15日(月)～
MaruhakuTVサイト (<https://www.maruhaku.tv/>)にて

交流会に参加して、もっと「あなたの知らない茅ヶ崎」を発見してみませんか？茅ヶ崎の旬の食材を味わいながら、MaruhakuTVでもおなじみの講師のトーク、そして参加者同士で茅ヶ崎談義をしてみませんか？これまでMaruhakuTVで講座を受講したことない方も、これを機に受講して、ぜひご参加ください！

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館って何？

茅ヶ崎市の全域を屋根も壁もない博物館と見立てて、文化、歴史、自然、産業、商業、公共施設、人材など、「このまち」らしさをもついろいろな事柄を幅広く選び出し、これらを都市資源と呼ぶことにしました。これらの都市資源を調査・研究し、それぞれがもっている意味や魅力を広く市民に周知する一方、それぞれを関連付けて散策や各種イベントなどで活用を図ることにより、茅ヶ崎を改めて知り、茅ヶ崎を愛する心を育み、ひいてはまち全体の活性化を図ろうとするものです。そして、都市資源は地域のかげがえのない宝ものとして、地域により保護され育てられていくことになります。住民が、自分たちの地域の未来のために、自分たちの考えと力で運営していく姿勢を特に重要視しています。

編集後記

あけましておめでとうございます。気づけば2018年になり、あっという間に1年が過ぎたように感じます。2017年を振り返ると、7月号・10月号、そして今回の1月号の取材をしたことで、たくさんの方に知らなかったまちの魅力を教えていただきました。素敵な都市資源がまだまだ市内にはあることを感じ、わくわくしながら年が明けました。本年もどうぞよろしく願いいたします。(広報部会一同)

発行・編集 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館アクションプロジェクト 広報部会 (印刷協力 湘南ちがさき屋)
〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1 茅ヶ崎市教育委員会教育推進部 社会教育課文化財保護担当・社会教育担当
Tel 0467-82-1111 E-mail: shakaikyoku@city.chigasaki.kanagawa.jp

バックナンバーは

注目の都市資源！！

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館では、文化や歴史、自然、産業、人材など市内のさまざまなまちの宝ものを「都市資源」と呼んでいます。今号は、「民俗資料館」「大山道」という都市資源に注目し、ちがさき丸ごと博物館アクションプロジェクト・広報部会の記者が取材に行ってきました！

民俗資料館 ～ 旧和田家住宅・旧三橋家住宅 ～

堤の民俗資料館の旧和田家住宅と旧三橋家住宅が市指定重要文化財だということは、ご存知の方も多いと思います。では、民俗資料館が昨年4月に「景観重要建造物」に指定されたことはご存知ですか？ちがさき丸ごと博物館・広報部会の私たちも今回初めて知ったので、市担当課の景観みどり課の高山さんと古角さんを訪ねてきました。

「景観重要建造物」とは良好な景観の形成に重要な建物のことで、その建物の周辺を含めた景観を守っていく目的で指定するそうです。「景観重要建造物」に指定されるには、茅ヶ崎の自然、歴史文化、生活文化などの特徴がよく表れ、茅ヶ崎の景観形成に良い影響を与えている建造物や地域の人に愛され、地域のシンボルとして親しまれている建造物で、かつ誰もが容易に見ることができる等いくつかの要件に該当することが求められるそうです。

旧和田家と旧三橋家は、このような指定要件にあてはまると判断され、平成29年4月7日に市内で初めて景観重要建造物に指定されました。指定を受けると、建造物を含んだ周辺の景観に違和感のある建物が建たないように全体的な調和も維持されます。両建物のあるこの地域は景観ポイント「堤・浄見寺周辺」に指定され、付近で予定されている博物館の建設や駒奇川整備の計画とも連携して、緑地景観とともに、歴史文化が感じられる景観を守っていくとのことでした。

ここは家族連れでお弁当を持ってゆったりとした時間を過ごしている姿もよく見受けられ、市内の人々に親しまれる憩いの場にもなっています。民俗資料館を訪れる際は、建物だけではなく、その周辺の景観も丸ごと満喫してみたいかがでしょうか。（板倉）



▲旧和田家住宅 旧三橋家住宅▼



民俗資料館
旧和田家住宅・旧三橋家住宅
開館時間 9時～16時
休館日 月曜日
入館料 無料
問合せ 0467-85-1733
(文化資料館)

大山道 ～ 田村通り大山道 ～

江戸時代、「大山参り」が盛んに行われた頃、関東各地から大山へ向かう道は「大山道」と呼ばれ、多くの道筋がありました。茅ヶ崎を通る「田村通り大山道」は特に人気があり、参詣者でにぎわったといわれています。

昨年12月2日（土）に行われた大山道のまち歩きを主催する「地元から発信する旅づくり実行委員会」の市産業振興課の忠隈さんにお話を伺いました。地元から発信する旅づくり実行委員会では、“茅ヶ崎を通過点にさせない”ために市内の観光客の回遊性の向上を図ったり、内（市民・事業者）と外（観光客）との交流を促し、住みやすい・訪れやすい地域づくりや観光資源のネットワークづくりを推進したりされているそうです。

この大山道のまち歩きは、観光の魅力づくりの一環として、平成24年から年一回開催され、昨年12月2日（土）で6回目を迎えました。案内役は、文教大学の学生さんたちです。学生さんたちは、昨年7月からちがさき丸ごと博物館の会による研修を重ね、本番は白の行衣（ぎょうえ）に菅笠姿でガイドを務めました。

忠隈さんに、観光としての大山道の魅力を質問してみました。「『これ！』という観光名所があるわけではありませぬし、実際企画するまち歩きでは風景を楽しむために大山道を外れて歩いたりもしますが、行衣姿の大学生に案内され、かつての大山参りの雰囲気を感じて想像しながら歩いていくことに魅力があると思っています」とのことでした。

今回も大好評だったこのまち歩きのコースを載せましたので、みなさんもぜひ江戸時代の茅ヶ崎を想像して歩いてみてはいかがでしょうか。（源）



《今回のまち歩きコース》
JR辻堂駅～四ツ谷不動堂、大山街道一の鳥居～餅塚の辻～宝積寺～農業ふれあい館～西光寺～墓の越し～神明大神～本在寺～熊野神社～鷲茶屋跡（約7km）

▲実際使われた「大山道」から少し外れますが、昔ながらの風景を楽しめるコースをご案内

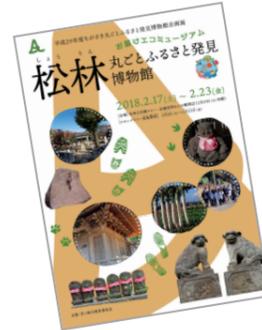
お待たせしました！

平成29年度企画展

お届けエコミュージアム！松林丸ごとふるさと発見博物館

今回の企画展は「お届けエコミュージアム！松林丸ごとふるさと発見博物館」と題し、松林公民館とその周辺からちがさき丸ごとふるさと発見博物館の活動をお届けします！

企画展「松林丸ごとふるさと発見博物館」では、市民ボランティアと行政の協働事業推進体制のもと、「松林」をキーワードに「講座・講演会」や「まち歩き・自然観察会」、松林公民館を中心に周辺を巡るスタンプラリーなどの企画をご用意！松林地域を知る企画は、市民ボランティアが中心となって編集した、企画展をたのしんでいただくためのプログラムでご覧いただけます。



まずは、企画展をたのしむためのプログラムを手に入れましょう！

配布開始 平成30年1月30日（火）

配布場所 スタンプラリーポイント（松林公民館、小和田地区コミュニティセンター、農業ふれあい館、ぐるめっこぼうざん、レプラコーン。）、市教育委員会社会教育課

部数に限りがあるため、1人1部でお願いします。なくなり次第終了。

たとえばこんな企画をお届けします！

オープニング講演会 松林の長堀 検校

日時 2月17日（土）10時～12時30分
場所 松林公民館講義室
講師 長嶺敬子さん(ちがさき丸ごと博物館の会)
定員 80名〈申込制（先着）〉

講座 松林と大山道

日時 2月18日（日）14時～15時30分
場所 松林公民館講義室
講師 金子栄司さん(ちがさき丸ごと博物館の会)
定員 80名〈申込制（先着）〉

スタンプラリー

2月1日（木）～2月23日（金）に、松林公民館など5か所を巡るスタンプラリーを実施します。すべて集めた方には、記念品「ちがさき丸ごと博物館エコバッグ」を差し上げます！スタンプラリーの台紙はプログラムの中にあります。記念品の交換は、会期期間中に松林公民館で行います。（なくなり次第終了）

映画上映会 茅ヶ崎が映る小津映画豪華2本立て

日時 2月18日（日）
10時～ 「長屋紳士録」
11時25分～ 「晩春」
場所 松林公民館講義室
定員 80名〈申込制（先着）〉

まち歩き 松林ぶらり物語①(地藏堂から菱沼、室田へ)

日時 2月18日（日）10時～12時
案内役 ちがさき丸ごと博物館の会
定員 20名〈申込制（先着）〉

まち歩き 松林ぶらり物語②(千手院から松林、室田へ)

日時 2月21日（水）10時～12時
案内役 ちがさき丸ごと博物館の会
定員 20名〈申込制（先着）〉

自然観察会(松林公民館周辺)

日時 2月22日（木）10時～12時
案内役 岸一弘（社会教育課）
定員 20名〈申込制（先着）〉

申込は全て1月30日（火）～市教育委員会社会教育課へ電話（0467-82-1111）

他にも松林を知る企画がいっぱい！詳しくはプログラムをご覧ください！